

事業所の名称	グループホームあいち	
異動区分 (該当の番号に○)	1 新規	2 変更
適用年月日	平成 26 年 4 月 1 日	

夜間支援等体制加算(Ⅰ)・(Ⅱ)	1	夜間支援体制の確保が必要な理由	夜間の排せつ支援等を必要とする利用者が入居しているため。								
	2	夜間支援の対象者数及び夜間支援従事者の配置状況	算定する加算区分(該当に○)	共同生活住居名	夜間支援の対象者数(人)	1人の夜間支援従事者が支援を行う利用者の数(人)					夜間支援従事者の勤務形態(夜勤・宿直)
			I・II	Aホーム	5	夜間支援従事者①	夜間支援従事者②	夜間支援従事者③	夜間支援従事者④	夜間支援従事者⑤	宿直
			I・II	Bホーム	6		5	1			夜勤・宿直
			I・II	Cホーム	4			4			夜勤
			I・II								
			合計	15	5	5	5				
	3	夜間支援従事者の勤務形態ごとの勤務日数	夜間支援従事者①	夜勤(月 0 日)・宿直(月 31 日)							
			夜間支援従事者②	夜勤(月 23 日)・宿直(月 8 日)							
			夜間支援従事者③	夜勤(月 31 日)・宿直(月 0 日)							
			夜間支援従事者④	夜勤(月 日)・宿直(月 日)							
			夜間支援従事者⑤	夜勤(月 日)・宿直(月 日)							
	4	夜間支援従事者を配置している場所	夜間支援従事者①	Aホーム							
			夜間支援従事者②	Bホーム							
			夜間支援従事者③	Cホーム							
夜間支援従事者④											
夜間支援従事者⑤											
5	配置場所から最も離れた共同生活住居までの移動時間(複数の共同生活住居の夜間支援を行っている場合)	夜間支援従事者①	-								
		夜間支援従事者②	-								
		夜間支援従事者③	徒歩10分								
		夜間支援従事者④									
		夜間支援従事者⑤									
6	配置場所とグループホームとの間の連絡体制(非常通報装置・携帯電話等)(複数の共同生活住居の夜間支援を行っている場合)	夜間支援従事者①	-								
		夜間支援従事者②	-								
		夜間支援従事者③	携帯電話								
		夜間支援従事者④									
		夜間支援従事者⑤									
7	夜間支援体制を確保している夜間及び深夜の時間帯	Aホーム 22:00~6:00、Bホーム・Cホーム 21:00~5:00									
8	その他										
夜間支援等体制加算(Ⅲ)	1	夜間における防災体制の内容(契約内容等)	共同生活住居名	警備会社(◆◆会社)と警備の委託契約を締結。(契約書の写しは別添のとおり。)							
			Eホーム								
	2	利用者の緊急事態等に対応するための連絡体制・支援体制の確保の具体的方法	共同生活住居名	職員が携帯電話を身につけ、夜間及び深夜の時間帯の連絡体制を確保するとともに、緊急連絡先を共同生活住居内の見やすい場所に掲示し、利用者にも周知している。							
			Fホーム								

添付書類	従業者の勤務の体制及び勤務形態一覧表(別紙2-2)及び組織体制図(参考様式15) 共同生活援助に係る共同生活住居及び入居者の状況(別紙15) 加算(Ⅲ)の1に該当する場合は警備会社との警備業務委託契約書の写し(原本証明のこと)
------	---

- 注1 記入欄が不足する場合は、適宜欄を設けるなどして記載してください。(本書を複数枚使用可。この場合、右上に枚数を記入)
- 注2 夜間支援等体制加算(Ⅰ)・(Ⅱ)の2の「夜間支援の対象者数(人)」欄には、当該共同生活住居における前年度の平均利用者数(新設の場合は推定数)を記入して下さい。また、前年度の平均利用者数の算定に当たって小数点以下の端数が生じる場合は、小数点第1位を四捨五入して下さい。
- 注3 夜間支援等体制加算(Ⅰ)・(Ⅱ)の2の「夜間支援従事者の勤務形態(夜勤・宿直)」欄について、夜勤と宿直が混在する場合は「夜勤・宿直」と記載して下さい。
- 注4 夜間支援等体制加算(Ⅰ)・(Ⅱ)の7の「夜間支援体制を確保している夜間及び深夜の時間帯」欄について、共同生活住居ごとに時間帯が異なる場合は、共同生活住居ごとに記載して下さい。
- 注5 夜間支援等体制加算(Ⅲ)については、1又は2のいずれか一方(両方で可)を具体的に記載して下さい。
- 注6 夜間支援等体制加算(Ⅰ)については、平成27年3月31日まで経過措置があります。(留意事項通知参照)